

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)



創立30周年記念式典・祝賀会 新時代に決意新た

尾池学長

学部学科の改組 教育課程の再編

中長期ビジョンを示す

9月16日に開催された「石巻専修大学創立30周年記念式典・祝賀会」。大学関係者をはじめ、地元自治体などから約200人が出席した。大学の出席者は「平成」とともに歩んだ30年を振り返るとともに、「令和」という新時代に、決意を新たに示した。

石巻専修大学は1989(平成元年)に人間学部29(平成元年)、理工学部4学科・経営学部1学科の2学部5学科体制で開学した。2013(平成25)年には人間学部29(平成元年)、理工学部4学科を新設し、学問領域の異なる3学部7学科を擁する総合大学となった。石巻地方唯一の高等

教育機関として、これまでに1万人を超える卒業生を輩出し、令和元年の今年、30周年の節目を迎えた。

尾池守学長は式辞で「社会に対する報恩奉仕」という建学の精神と、「社会知性の開発」という21世紀ビジョンの拠点となってもらいたい」と期待を寄せた。

る。そのためには学びたい人と社会のニーズに沿った教育課程の再編が必要だ。経営学部の2学科制など、22年をめぐり学部学科の改組、教育課程の再編に取り組んでいく」と、中長期ビジョンを示した。

日高義博理事長は、「私立大学の有りようは建学の精神にある。社会の柔軟な構造を支える人材を輩出することが、大学の建学の精神に結び付く」とあいさつした。

続いて、亀山紘石巻市長が「石巻市にとって石巻専修大とは、地域と共に歩む」をテーマに講演。「産学官が連携した持続可能な地域社会を構築する上で、石巻専修大には今後も地域創生の拠点となってもらいたい」と期待を寄せた。

講演後、大学の発展に貢献した石巻地域高等教員と社会のニーズに沿った教育課程の再編が必要だ。経営学部の2学科制など、22年をめぐり学部学科の改組、教育課程の再編に取り組んでいく」と、中長期ビジョンを示した。

祝賀会では、石巻市と専修大学校友会(小宮多喜次会長)から寄付金、石巻専修大学同窓会(伊東孝浩会長)からデッキテーブル5基とベンチ20脚の目録が尾池学長、日高理事長に手渡された。

1期生の伊東同窓会長が発声で乾杯し、出席者たちは和やかに歓談。スピーチ上では、アトラクションとして石巻市指定無形民俗文化財「渡波獅子風流(わたのはししゅうり)」の舞が披露され、尾池学長や3学部長が獅子舞に頭をかまれると、会場は盛り上がった。

卒業生の木村純さん(平10経営・専修大学北上勤務)は石巻専修大の4年間を「伸び伸びと学生生活を送った。ゼミの先生やゼミ生との交流、陸上部でのサークル活動など懐かしい思い出がたくさんある。夏休みには米国のネブラスカ大学リンカーン校で、語学研修をして初めての海外を体験した。現在、教育関係の仕事に就き、改めて人と人とのつながりが大切だと実感している。多くのことを大学時代に教

えられた」と振り返った。

東日本大震災で被災した。宮城県沿岸を自転車で駆けつける「ツール・ド・東北」(河北新報社、ヤフー主催)には、石巻専修大学が特別協力しており、第1回(2013年)からスタート・ゴール地点の会場を提供している。

第7回の今年も9月14、15日に行われ、全国から3900人を超えるライダーが参加。本学からサイクリング愛好会の渡部晃士さん(人間2)、茨城県第一学院高、佐々木翼さん(人間2)、福島県会津高が出場し

た。常連の坂田隆理工学部教授と2人はそろいのサイクルウェアをまとい、坂田教授が170キロコース、渡部さん、佐々木さんが最長の210キロコースを笑顔で完走した。

は「最長コースの完走を目標に体力作りをして臨み、達成することができた。来年に向け、時間配りたい」と語った。

「今後AIが教育する事に興味がある」と話す松澤寛人さん(人間3・新潟県糸魚川)は「AIが教育にどのような影響を与えるか、いじめや不登校といった問題も絡めながら研究していきたい」と意欲を語った。

尾山萌加さん(人間3・宮城県東松島高)は「教育現場でのいじめについて学びたい。これからの研究で不登校になる理由を調査し、実情を知りたい」と話した。

学生一人一人にアドバイスを送った新福教授は「研究を進める上で、必要な知識や技能を習得し、探究心を育ててほしい」と学生たちの成長に期待を込めた。

人間教育学科3年次生新科目 「人間教育研究基礎」スタート

人間学部人間教育学科の3年次生を対象とした新科目「人間教育研究基礎」が後期から始まった。学生が教員の研究室に所属し、学級経営、いじめ、心理学など各自が関心を持つ保育・教育に関する専門的なテーマについて自主的に掘り下げて学んでいく。



新福教授(左から2人目のアドバイスを聞く学生)その後、学生が興味を表。持っているテーマを発するようになる、という記事

サイクリング愛好会2人 ツール・ド・東北に出場

東日本大震災で被災した。宮城県沿岸を自転車で駆けつける「ツール・ド・東北」(河北新報社、ヤフー主催)には、石巻専修大学が特別協力しており、第1回(2013年)からスタート・ゴール地点の会場を提供している。



坂田教授(中央)と完走を喜ぶ渡部さん(左)と佐々木さん

第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝)10月27日、宮城県仙台市)の東北地区代表選考会が9月26日、岩手県の北上総合運動公園陸上競技場で開催され、女子競走部が1時間52分13秒の2位でゴール。2年連続4回目となる杜の都駅伝出場を決めた。

レースは3区間をつなぐ駅伝方式で合計タイムを競う。主将の庄司琴美さん(経営4・宮城県聖和学園高)は「予選会では、一人一人の課題が浮き彫りになった。本戦までの期間、全力で取り組んでいく。キャプテンとしてチームをまとめ、本戦に臨みたい」と意気込みを話した。